

滋賀大学 未来創生型文理融合教育 の推進について

滋賀大学では、令和4年度に新設したリベラルアーツ・STEAM教育研究センターを中心に、未来創生型人材育成に向けた文理融合（STEAM）教育の検討を開始しました。第4期中期計画では、「知」の蓄積と融合による人間や社会の総合的理解と課題解決の重要性を受け、「総合知」の創出・活用を目指しているところです。持続可能な未来社会を見据え、リベラルアーツと専門知を組み合わせた文理融合（STEAM）教育を一層推し進めるため、以下の方針を示します。

1 未来創生型文理融合教育推進に向けた5つの柱

未来創生型文理融合（STEAM）教育で育成する人材は、以下の5つの階層からなる能力・思考を、段階をおって獲得していくことを目指します。

① 数理・データサイエンス・AI リテラシー

→複雑化していく社会における課題解決にデータを活かすための基礎力を身に付ける。

② 分野を横断する幅広い知識と文理横断的な思考

→科学技術系と人文・社会科学系、芸術系を包含した幅広い知識を習得し、過去から現代に至る人間精神の多様な遺産について学ぶことにより、文理の枠にとらわれない柔軟な思考を養う。

③ 総合的な知をベースとした俯瞰的視野と論理的思考

→学際的な知の力をベースとし、新しい時代を生き抜く総合的・俯瞰的視野を獲得する。また、歴史と社会の中で自分の現在位置を確認することを通して、論理的思考と高い倫理に支えられた人間性を育む。

④ 規範的判断力と課題発見・解決力

→探求型学習や PBL 型授業を通じ、状況に応じて適切に判断する力と課題発見・解決力を育む。

⑤ 価値創造力と構想力

→様々な角度から物事を考えられる柔軟な創造力と未来社会を構想する力を獲得する。

2 教養科目・専門科目における展開イメージ

教養科目

- ◆数理・データサイエンス・AI リテラシー（サイエンス分野）
- ◆分野を横断する幅広い知識と文理横断的な思考
（ヒューマニティーズ、サイエンス分野）
- ◆俯瞰的視野と論理的思考
（ヒューマニティーズ、サイエンス分野）
（クリエイティブ・スタディーズ分野）
- ◆課題発見・解決力
（クリエイティブ・スタディーズ分野）

例）滋賀県をはじめとする地域課題解決

アート思考・デザイン思考

アントレプレナーの資質

専門科目

- ◆個別分野で深く学ぶ知性
- ◆規範的判断力
- ◆PBL 科目や演習科目における課題発見・解決力の社会の課題への応用
- ◆教養科目において獲得した能力の専門科目への応用
- ◆上記を通じた価値創造力・構想力

